

4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和6年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		4,662	t-CO ₂
① （温を除く 二室除 酸効く 化果 炭ガ 素換 排 算 量）	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	③メタン		t-CO ₂
	④一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑧三ふっ化窒素		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑧合計）		4,662

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量及び原単位排出量
------------------	--------------

項目	基準年度 令和6年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和9年度 目標削減率	
	温室効果ガス 総排出量	4,662	t-CO ₂	4,522	t-CO ₂	3.0

項目	基準年度 令和6年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和9年度 目標削減率	
	原単位当たりの 排出量	0.07353	t-CO ₂ / m ²	0.07132	t-CO ₂ / m ²	3.0

（2）目標設定の考え方

エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）に基づき、削減目標を年1%として、3年間で3%を削減することとする。

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標
省エネルギー・省資源の推進 【冷暖房】 空調負荷の低減・設備運転の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ■TPO（時間・場所・場合）および業務内容に応じた私服の推奨 ■設備の運転時間、温度の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・夏季28度、冬季19度の設定 ・中間期（夏季・冬季）の運用 ■ブラインド、緑のカーテンの実施 	削減目標（年▲1%）達成に向けた着実な取組みの実施
省エネルギー・省資源の推進 【照明】	<ul style="list-style-type: none"> ■昼休みのほか支障の無い場所・時間の消灯 ■支障のない場所の照明間引き ■執務室ライト変更と同調したLED化 	同上
省エネルギー・省資源の推進 【OA機器等その他】	<ul style="list-style-type: none"> ■エレベーターの稼働台数、階数制御 ■OA機器の不使用时间のスイッチオフの徹底 ■自動販売機内部照明の消灯 	同上
省エネルギー・省資源の推進 【冷暖房設備更新】 省エネ空調設備への更新	<ul style="list-style-type: none"> ■本・西館 大型空調機取替 ■本・西館 給排気ファン取替 	同上

指針第1号様式

(2) 非化石エネルギーへの転換に関する措置

ア 非化石電気に関する目標

指標	目標 (2030年度)
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	%

イ 計画期間における非化石エネルギーの利用

--

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

--

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

--